1991~1992日1テーマ

自分を超えた眼を

Look Beyond Yourself

RI会長 ラジェンドラ・K・サブー

TAMA GREEN NORYG JAPAN

例会 NO 7 5

No 2- 39 1992. 5. 13 発行



Veekly Report

国際ロータリー第2750地区東京多摩グリーンロータリークラブ

1991~1992年度クラブ目標 "親睦と奉仕の流れを創ろう"

☞☞☞ 第75回例会報告(4/29) ☞☞

特別代表 由井 重光

司会 SAA 杉田 誠

☆点 鐘 会長田中 實

☆ロ-タリーソンク 「奉仕の理想」

ソンクリーター 菊地 敏

☆会務報告

会 長 田中 實

* 報告事項なし

☆幹事報告 幹事宮本 誠

- *東京府中R Cより公益信託東京府中R C教育振興基金設立10周年記録誌が来ております。教育に貢献された府中の学校の先生等を記載したもので、奉仕活動のいろいろと参考になると思います。事務局に置いておきますので御覧下さい。
- *他クラブ例会変更のお知らせ
 - ·東京狛江RC

5/1(金) 休会



5/22(金)→5/19(火)・20(水) 親睦旅行に振替、箱根富士屋ホテル

*私ごとであるが連休明けからしばらく海外 に行きますので、5/27の例会までは留守に しますので、よろしくお願いします。その 間橋口副幹事にお願い致します。

☆委員会報告

★出席委員会

[出席報告]

橋本 幸夫

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 目	4 3	2 4	5	1 4	7 0 . 73
前足	4 3	3 2	3	8	8 5 . 37

※出席免除者2名

[先週のメークアップ]

中山 恒武 4/21 みなとRC

高野 範城 4/20 麹町RC

中山順一郎 4/28 多摩RC

[本日の事前メークアップ]

遠藤 二郎 4/28 多摩RC

伊神 稔 4/24 熊谷RC

小城 章員 4/28 ロータリー 財団委員長会議

大熊 將夫 4/28 多摩RC

吉尾警太郎 4/28 多摩RC

[欠席届者]

小島周二郎、 増川 徹、 松原 健、

内藤 實、中山 恒武、 小坂 一郎 [欠席者]

隅 耕造、 戸田 昭寿、 吉原光太郎、 吉沢 洋景、 佐伯 和廣、 中山順一郎、

★親睦委員会

奥木 博勝

===BOX

由井 重光 (東京多摩RC:特別代表)

内藤社長さん、永田常務さん、会長・幹事さん、次期会長・幹事さん、楕口さん、過 日の私の出版祝では大変お世話になりました。お蔭様で盛会でした。

宮本 誠 結婚25周年でヨーロッパに行って来ます。5/27の最終例会までお会い出来ませんのでよろしく。

橋本 幸夫 ビールの季節になりました。

田中 實 天気良く気分良し。

今井 正司 先日のプロ・アマチャリティー ゴルフでおせわになりました。プロとまわれてよかったです。

北村 幸彦 プロ・アマチャリティーで団体 優勝が出来ましたので。

橋口 洋三 4/27(月)プロ・アマゴルフで 我が多摩グリーンRCが優勝したので。

猪股 末男 新緑がきれいで、気分が良いで すね。

津守 弘範 夜間例会で飲めて。

萩生田茂夫 米山功労者の表彰を受けました ので。

海野 栄一 萩生田会員はもはやライバルではない…。少し言いすぎか?

以上 合計 25,000円

【親睦同好会について】 城倉 正博 *6月の親睦旅行の時に、各同好会の第1回 の行事を行いたいと思います。同好会の中で も人数がダブル方がおりますので、一番大き な同好会はゴルフで約16名になり、写真同好会は旅行の中で撮っていただいて、行っていただれば良いと思います。釣り同好会は熱海ですので、海が荒れない限り出来ると思いますので実施していただきたい。マージャン同 好会は7名ですので、1組は出来ると思いま

す。同好会には部長がおりますので、メンバーを誘って実施していただきたい。

親睦委員長 城倉 正博

♡おめでとうございます♡〔結婚記念日〕

高野 範城・慶子

★国際奉仕委員会 奥木 博勝

モンゴルに鉛筆・ノートを送る件で、締切り期日もきているので、グリーンRCの方のも数ヶ所の分を集計しまして、ノートは2千冊を越しました。鉛筆も2千本ぐらいになりました。寄附金はお蔭様で6万円は越したと思います。海野さんの処、吉田さんの処、大熊さんの処、菊地さんの処の分を私の処に収集してほしい。連休明けに国際ソロブチニスト多摩の分も集めて、ダンボールに詰めて、送料の見積を出す予定であります。まだ個人的にお持ちの方はぜひ提出して下さい。御協力ありがとうございました。

☆次年度会長報告 赤尾 恭雄

前回の例会の後にお願いしました各委員会の活動計画について見直し、本日提出日になっておりますが、まだ報告がない処は、クラブ奉仕、会員増強、プログラム、SAA、会報、雑誌、国際奉仕、米山奨学事業、青少年奉仕の各委員会で、前に提出された通りであればよろしいが、もし訂正があれば訂正をしていただきたい。本日間に合わない場合には明日直接ファックスで送って下さい。よろしくお願い致します。

www.【卓 話】www.www.www.www.www.ww

雑誌委員会 委員長

吉田 文夫

「ロータリーの友」 とはどんな雑誌か

1953年 1 月に創刊された「ロータリーの友」 は来年は40年目を迎えます。

毎年4月は「雑誌月間」に指定され、クラ

プは雑誌に関するプログラムを行わなければ ならないと規定されています。

ここに言う雑誌とは、元来国際ロータリーの公式機関である「THE ROTARIAN」だけですが、一方世界中の27ヶ国で30の地域雑誌が発行されており、現在の所その中の21誌は理事会によってロータリーの公式雑誌と認められ「公式地域雑誌」と呼ばれています。

「THE ROTARIAN」は1911年に創刊されすでに81年の歴史を持ち、アメリカ・イリノイ州のエバンストンのR | 中央事務局で発行されています。

公式地域雑誌の制度は1977年の規定審議会 の決定によって生まれました。

それまでも多くの国々で自国語による地域 雑誌が刊行されていました。しかしその内容 が発行国のロータリー中心で、公式のロータ リー情報の伝達手段としては不充分なものが 沢山ありました。

そこでR | は一定の要件を満たす地域雑誌を公式地域雑誌として指定し、その講読をクラブ会員全員に義務づけることにしました。(クラブ定款第12条)

一定の要件とは、①RIの指定記事の掲載 (THE ROTARIANに掲載された記事を自国語に 翻訳)②年4回以上の発行③記事の50%以上 がロータリーに関するものであること④毎年 年度初の7月号の表紙には新年度のRI会長 の写真を使用すること等です。

上述のように公式地域雑誌に指定されると クラブ会員である限り、その雑誌の有料購読 者であることを続けなければなりません。講 読をやめればロータリアンの資格を失います。 1980年に「ロータリーの友」は公式地域雑誌 に指定されましたが、世界の中ではどの程度 の位置を占める雑誌なのかを紹介したいと思 います。

昨年1月エバンストンのRI中央事務局で全世界のロータリー地域雑誌編集長セミナーが行われ、27ヶ国の全地域の雑誌編集長が招かれました。その中で特に秀でた6誌に次の特別賞が贈呈されました。

① 環境保全プログラム推進最優秀賞、台 湾の「扶輪」誌。

- ② ロータリーの真のイメージ普及最優秀 賞 オーストラリアの「ロータリーダウ ンアンダー」誌。
- ③ 最優秀国際報道賞、ベルギーの「ロータリーコンタクト」誌。
- ④ 最も改善された雑誌への特別賞、チリーの「エル・ロタリオチリ」誌。
- ⑤ 最優秀デザイングラフィック賞、フランスの「ル・ロータリアン」誌。

そして最後のRI会長総合優秀賞。上記の すべてを合わせて最も優れた雑誌、いわゆる グランプリ賞を獲得したのが日本の「ロータ リーの友」だったのです。

以上のように、「ロータリーの友」は世界の公式地域雑誌の中でもトップクラスにあります。今年2月号の「友」に紹介されたポールハリスの「合理的ロータリアニズム」と題する論文は1911年に創刊された「THE ROTARIAN」の1月号に掲載されたものが、「友」には1966年と1977年の2度にわたりすでに紹介され、今回3度目の掲載になります。

すでに読まれた方も多いでしょうが一度目を 通して頂きたいロータリー哲学の原点に立つ 名文だと思います。

「友」はさまざまなヒントやアイテアがいっぱいつまった雑誌であると言えます。

私達のクラブでも新年度に対して、各クラブの委員長、委員も決まり、その活動方針や 実施を考えるとき、「友」はよいアイテアを 提供してくれます。

ロータリーにはご存知の通りクラブはもとより会員一人一人のロータリー活動への一層 積極的な参加を奨励する目的でRI理事会が 決定した「ロータリー特別月間」があります。 1月はロータリー理解推進月間。2月は世界 理解月間。4月は雑誌月間。8月は会員増強 及び拡大月間。9月は青少年活動月間。10月 は職業奉仕、及び米山奨学月間。11月はロータリー財産月間という特別月間がありますが、 「友」はその月間にそのテーマにそった編集 も行っています。

積極的に「友」を読まれることをお願いし ます。 **☆☆☆** 交換学生レポート **☆☆☆☆☆** ◎当クラブよりの派遣交換学生、

野沢麻衣子さんよりの報告書 青少年交換委員会 クラブカウンセラー 風間 茂穂

派遣交換学生の野沢麻衣子さんより第1回 目のラブレターが参っておりますので、朗読 させていただきます。

「こんにちは、お久しぶりです。みな様、 お元気ですか?

さっそくレポートが遅くなってしまいまし た。どうもすみません。

さて、ここに来てもう10日が過ぎました。 毎日多忙な日々を送っております。人口3千 人のこの町は、確かに田舎ですが、特別何の 不自由もなく、生活できる所です。大自然の 中で、この町の人々は、とてものんびりと、 マイペースに生活を楽しんでいるように見え ます。2・3日前にやっと、ここにも春が訪れました。今では夜8時頃にならないと暗く ならないので、夜が短く感じます。

初日の学校は感動の連続でした。小さな学校ですが、誰もが「Hi!」と声をかけてきてくれて、私がロッカーのカギが開かなくて困っていると、すぐに助けに来てくれました。ランチの時も、友達が色々説明してくれたりして、みんなで楽しく食べる事が出来ました。とにかく、本当にみんなフレンティーです。おかげで、もうたくさんの友達ができました。

私がアメリカに来て一番感動したのは、セントラルスティツのロータリークラブです。約 100人ほどの来日生と派遣生が集まりました。プログラムの主な行事は、ティスカッションでした。1回1時間ほどのティスカッションを、20人ぐらいのグループに分けて、2日にわたって、6・7回行ないました。

内容は、今現在のアメリカ、日本の財政、 環境汚染、旧ソビエト、難民問題、戦争につ いてなどでした。私はまだ、とても全てを理 解する事は出来ませんでしたが、各国の生徒 達の意見を聞いて、改めて色々と考えさせら れました。ティスカッションのグループには 1人ずつロータリアンが入って進行します。 ロータリアンの中には、日本人も何か言わな いのかなどと言う人も居ました。確かに言い たい事はありましたが、とても英語で説明で きなかったのがとてもくやしかったです。1 日も早く話せるようになりたいと思いました。

2日目の夜に、みんなでタレントショーを 行ないました。そこでは、各国の生徒たちが 自分の国の歌をうたったり、劇をしたりしま した。中でも印象的だったのは、フィリピン、 南アフリカ、ブラジルの人達です。音楽は世 界共通なので、私達はお互いに音楽を通して 一つになった気分でした。陽気なブラジルの 人達は、それまで、とてもふざけていて、 誰よりも元気がよかったのですが、自分の国 の歌をうたっている時に、とても寂しそうな 顔をして、終わった後何人かの人が涙をふい ていました。すごく悲しかったのです。私達 は、みんな本当に仲良くなり、一つになりま した。1人のブラジルの男の子は、私と違う ティスカッションのグループでしたが、最後 のディスカッションの時、こう言ったそうで す。「このティスカッションで僕も色々な事 について考えさせられました。僕は、こうし て、ロータリーを通じて、みんなに会えた事 に感謝しています。僕達は、まだ今若いけど、 大人になってから、今ここにいるみんなは、 絶対に戦争にかかわっちゃだめだよ。僕はみ んながそうしないと信じているからね。」と 私はこのキャンプでたくさんのキレイな人達 と出会いました。そしてまた、改めて友達の すばらしさを感じる事が出来ました。

私は、たった2泊3日のこのキャンプでしたが、お別れの時は、とても悲しかったです。 次は7月にみんなに会える予定です。では、 みな様、お元気で。」以上が全文です。



東京多摩グリーンロータリークラブ

東京都多摩市落合547 多摩センタービル7F TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491 ※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

4個袋舗 変塵をごうデバートアニ サフライヤバウバッルルルール